

洋画家 三浦恒祺展

Tsuneki Miura

前期

8月2日水-25日金

原爆の形象



「原爆の形象」F80号
2006年/2018年加筆



「原爆の形象」F80号
2006年/2018年加筆

画歴
75年の集大成

後期

庄内の憧憬

8月26日土-9月18日月祝



「曙光月山」F80号
2006年/2018年加筆



「北嶺」P150号
1992年



「原爆の形象」F80号
2006年/2018年加筆



「月山山麓の景」S100号×2
1994年



致道博物館
CHIDO MUSEUM

〒997-0036 鶴岡市家中新町10-18 ☎0235-22-1199
入館料：一般800円、高大生400円、小中生300円

主催：公益財団法人致道博物館

共催：山形県、(公財)山形県生涯学習文化財団、鶴岡市教育委員会

会期中無休

◎9:00open-17:00closed

第1会場
前期展示の見どころ

8月2日水-25日金

原爆の形象

被爆者として原爆の強烈な恐怖と惨禍を伝え、平和を願い続ける連作「原爆の形象」。シリーズ47作のうち、新作を含む43作を一挙に公開します。



「原爆の形象 No.12 裂」F50号 2004年



「原爆の形象 No.21 復活」F50号 2008年

第1会場
後期展示の見どころ

8月26日土-9月18日祝

庄内の憧憬

四季折々の自然が内包する庄内の「風土美」を、心象風景として描く「もうひとつのライフワーク」を紹介します。この他、トルコ旅で描いた作品を特別展示。



「北方の景象」F80号×2 1991年 第39回光陽展 文部大臣奨励賞

第2会場
小品・淡彩画
スケッチなど



作家
略歴

三浦 恒祺 みうら つねき

1930年1月5日 東京都大井町に生まれる
1935年 父の転勤で広島に移り住む
1945年 広島で被爆(広陵中学2年勤務奉仕中)
終戦の日、両親の郷里・鶴岡に帰郷
鶴岡中学校編入、地主悌助に師事

1949年 鶴岡第一高校卒。庄内銀行入行
1952年 白鷺社会員推挙('64~'69年、2015~19年に白鷺社委員長)
1956年~ モダンアート展出品、'62年奨励賞
1977年~ 光陽展出品('79年会員推挙、'92年委員推挙、'15年名誉委員)
'88年光陽会賞、'91年文部大臣奨励賞、'92年40回記念大賞ほか
1979年 致道博物館にて個展開催(以後、'87、'97、'06に開催)
1988年 庄内銀行定年退職、以後画業に専心
1992~2013年 松ヶ岡開墾場内「ギャラリーまつ」にて19回個展
'01年東京文藝春秋画廊、'04年松山町資料館、'16年いでは文化
記念館企画展「羽黒地域の茅葺き民家」など、個展・企画展多数
1995年 被爆者健康手帳交付 被爆者の会入会
1998年 羽黒町教育文化功労表彰
'00朝日村サンプライズ表彰、'14鶴岡市芸術文化協会功労者表彰
1999年 画集「出羽路の茅葺き民家」刊行('13「庄内の景観」刊行)
2022年 おりづるタワー(広島)ウォールアートプロジェクト「2045 NINE HOPES」に参加
現在 光陽会名誉委員 白鷺社常任委員

《左上》茅葺き民家シリーズ「松ヶ岡本陣」6号 1996年 (いでは文化記念館蔵)
《左中》庄内の風景スケッチ(今泉海岸からの景、加茂水族館と鳥海山を望む、初夏)
《左下》庄内の風景スケッチ(桜ヶ岡からの景、秋)

洋画家

三浦恒祺展
Tsuneki Miura 展

父の転勤で広島に居住していた15歳の時、広島で被爆。終戦の日、一家で両親の郷里鶴岡へ移りました。

その後、地主悌助氏を師として絵を描き、美術団体白鷺社、光陽会に所属して作品を発表。銀行勤務との両立期を経て、93歳を迎える現在も絵筆を執り続けています。ライフワークである「原爆の形象」シリーズは、昨年、広島市の商業施設「おりづるタワー」の第1層目の壁画に採用されました。

本展は、75年の全画業を展覧する回顧展であり、展示総数は約100点におよびます。絵を描くことが好きだった少年が、被爆体験を経て自然の厳しくも美しい庄内に暮らし、平和を守り続けることを生涯「絵画で伝える」に至ります。この長い道のりを、会場に満ちる作品世界から感じていただけることでしょう。

「過ちを繰り返してはいけない」のです。

会期中のイベント

アーティストトーク

~出品作家による作品解説~
8月5日(土)、9月2日(土)
各回14時~(約1時間)
※要申し込み、先着50名

ミニコンサート

~絵画と音楽の調和~
※演奏曲目:組曲「月山」
※作曲・ピアノ演奏:滝沢佳奈子
※ナレーション:木村南海子
8月14日(月)、9月17日(日)
各回14時~(約30分)
※要申し込み、先着50名

※会場にイスをご用意いたします。
電話または受付窓口で、お申込みください。



致道博物館
CHIDO MUSEUM

〒997-0036 山形県鶴岡市家中新町10-18
電話:0235-22-1199 FAX:0235-22-3531
https://www.chido.jp/ E-mail:infochido@chido.jp

「致道(ちどう)」は、庄内藩致道館に由縁し、出典は『論語』で「君子学んで以て其の道を致す」です。



Chido Museum Information



重要文化財
旧渋谷家住宅



国指定名勝
酒井氏庭園



旧庄内藩主
御隠殿



重要文化財
旧鶴岡警察署庁舎



重要文化財
旧西田川郡役所



重要有形民俗文化財
収蔵庫



民具の蔵



美術展覧会場
(企画展会場)